

2024年度(令和6年度)

事業報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)



TCM

学校法人東京音楽大学

事業報告書目次

I. 法人の概要

1. 法人の理念等・目的	1
(1) 創設の理念と建学の精神	1
(2) 東京音楽大学の目的等	1
(3) 東京音楽大学ビジョン	2
2. 設置学校	4
3. 沿革	4
4. 学校組織図(教育・研究組織)	6
5. 法人・事務組織図	6
6. 役員・評議員の概要	7
7. 設置学校の入学定員・収容定員・学生数	8
8. 教職員数	9

II. 事業の概要

1. はじめに	10
2. 第Ⅱ期中期計画、事業計画への対応状況	12
(1) 東京音楽大学に関する計画	12
① 大学の使命・目的	12
② 内部質保証の推進	12
③ 教育の内部質保証	12
④ 学生募集	13
⑤ 学生支援	13
⑥ 研究及び研究支援	14
⑦ 教員・職員	15
⑧ 地域連携・社会貢献活動	15
(2) 東京音楽大学付属高等学校に関する計画	16
① 生徒確保	16
② 教育活動	16
③ 生徒支援・進路	16
④ 東京音楽大学付属高等学校ビジョン(仮称)の策定	16
(3) 東京音楽大学付属幼稚園に関する計画	17
① 園児確保	17
② 教育活動	17
③ 園児支援	17
④ 東京音楽大学付属幼稚園ビジョン(仮称)の策定	17
(4) 学校法人運営に関する計画	18
① 法人経営	18
② 財務基盤	18
③ 運営基盤	18
④ 監査機能	18
⑤ 施設環境の整備	19
⑥ 環境保全、人権、安全への配慮	19
⑦ 法令遵守	19
⑧ 情報公開	19
3. その他	20

III. 財務の概要

1. 決算の概要	21
(1) 貸借対照表の状況	21
(2) 収支計算書の状況	23
2. 基本金明細表・主な財務比率	29
3. 財産目録	30

IV. 資料

1. 公的研究費等獲得一覧	i
2. 演奏会記録	iii
3. 国際交流センター催事一覧	viii
4. キャリア支援センターイベント一覧	x
5. 付属図書館に関する資料	xii
6. 付属民族音楽研究所催事等一覧	xv
7. 内部統制システム整備の基本方針	xvii

I.法人の概要

1. 法人の理念等・目的

(1)創設の理念と建学の精神

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に創設された東洋音楽学校を前身とする、我が国で最も古いルーツを持つ私立音楽大学である。1963年に4年制大学として認可され、1969年に東京音楽大学と名称変更し、1993年に大学院音楽研究科修士課程、2014年に博士後期課程を設置し、現在に至っている。

創設者の鈴木米次郎は常々「音楽を通して社会に貢献する」ことの重要性を説き、私立学校設立認可願に学校の設立目的を「汎ク音楽ニ関スル学科及術科ヲ教授シ以テ高潔ナル品性ノ修養ヲ得セシムルニアリ」と記している。すなわち鈴木が目指したのは、音楽に関する学問的探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽人を育成すること、それによって社会に貢献すること、さらには東洋（東京）にあつて西洋音楽と東洋音楽を幅広く学べる拠点を提供することであつた。鈴木はその考えを、創設当初から修業年限を東京音楽学校（現・東京藝術大学）と同じ3年（他の私立音楽学校は1～2年）とすること、視覚障がい者のための点字楽譜を開発すること、清国留学生を積極的に受け入れること（これら留学生は中国における西洋音楽教育普及に尽力した）、雅楽を指導科目に取り入れること、卒業生を「船の楽士」として太平洋航路の客船に乗船させること等を通して実践していた。

今日、この創設者の志は、東京音楽大学の建学の精神と理念「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」として明文化されている。

東京音楽大学では、これらの建学の精神に基づき、第一線で活躍する教授陣による最高レベルの音楽教育を展開し、国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者・合格者を多数輩出するとともに、音楽業界、教育業界、さらには音楽以外の実業界において広く社会に貢献しうる優れた人材を送り出している。また、付属高等学校及び付属幼稚園においては、大学の教育研究資源を活用した連携教育を行い、高等学校においては思考力・表現力・判断力、幼稚園においては人間性・社会性の基礎の涵養に努めている。

(2)東京音楽大学の目的等

学校法人東京音楽大学寄附行為には、目的が次のように規定されている。

第3条 この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い音楽芸術を核とする学校教育を行い、音楽の学びを通して培われた専門性を活かして社会の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

東京音楽大学学則には、設置目的、教育目的が次のように規定されている。

第2条 本学は、教育基本法に則り、広く一般教育の知識を授けるとともに、音楽の専門教育を行い、これを通じて人格の完成をはかり、もって有為な音楽家を育成することを目的とする。

第2条の2 本学は、音楽芸術の研鑽を通じて、高度な専門性を有した音楽家、音楽教育者を育成する。また、自らの音楽的個性とともに幅広い教養を備え、現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを教育目標とする。

東京音楽大学大学院学則には、次のように規定されている。

第2条 本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。

(3)東京音楽大学ビジョン

近年、大学を取り巻く環境が様々に変化する中、迅速かつ柔軟に対応することが求められており、本学が目指すべき方向性や将来像を明確にし、本学の社会における存在意義や基本的な使命を示すため、「東京音楽大学ビジョン」を、2019年1月11日次のとおり策定した。

東京音楽大学ビジョン — 音楽文化の新たな地平を拓く —

東京音楽大学は、1907年の開学以来、建学の精神である「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を目標に、演奏活動を通じて海外協定機関等との緊密で多様な音楽文化の交流を育みながら、演奏力を安定的に発展、成熟させるとともに、教育研究の世界展開に多くの成果を挙げてきました。

本学は、急速な技術革新やグローバル化が進展する現代社会にあって、伝統を継承しつつ、常に新たな教育と研究の道を模索してきました。2017年4月には、音楽を柱に、教養と英語の能力も身につけて世界のあらゆる分野で活躍できる人材を育成する「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設し、2019年4月には、新たに「中目黒・代官山キャンパス」を開校するとともに、「吹奏楽アカデミー専攻」を開設するなど、教育研究の質の飛躍的向上と充実に取り組んで参ります。

新しい時代に向けて音楽文化を創造し、音楽により、また音楽を通して、急激に変化する社会の様々な要請や期待に応えていくことを目指して、「東京音楽大学ビジョン」を定めました。

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。

音楽は、人間の感性に直接働きかける力を持ち、あらゆる境界を越えて広がっていく可能性を秘めています。

本学は、先進的な教育、研究及び社会貢献等を基盤として、人の心を自由にし、豊かな未来を実現する音楽文化の新たな地平を拓きます。

2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。

急速な技術革新やグローバル化等により絶えず変化する社会にあって、音楽大学には、演奏や音楽活動を通して人びとに感動を与え、その精神を崇高にし、多様な価値観を受け止められる感性を有する人材の育成が求められます。

本学は、学生一人ひとりが音楽に関する高度で専門的な知識・技術とともに豊かな教養を身につけ、西洋・東洋の枠を超えた多様な音楽文化や、音楽とITを融合する最先端の分野等についても多角的な視点を持った人材を育成し、社会のニーズに応えます。

大学院教育については、その質の格段の向上と、未来を牽引する人材を育成する観点から、教育研究組織の改編を含め抜本的な改革を推進し、その進化を図ります。

3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。

音楽文化の多様化、複雑化が進む現代において、未来を切り拓く多彩なアプローチによる音楽文化に関する研究や、本学の強みである演奏法や指導法の開発を推進し、異分野の研究者との共同研究を組織的に展開します。これらの最新の研究成果を教育に反映するとともに、世界に発信します。

また、附属民族音楽研究所においては、アジア音楽の研究拠点として創造的な研究を推進します。

4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。

グローバル化が進展する中で新たな音楽文化を創造するには、歴史とともに社会をよく知ることが求められ、多文化が共存するキャンパスであることが不可欠です。

多様な価値観を尊重することの重要性を踏まえ、教職員、学生及び教育研究等について双方向の国際交流を活発化するとともに、多様な背景を持った人の受入れを積極的に推進します。

これらを通して国際性に富んだ人材を育成するとともに、国際交流推進のための環境整備を図ります。

5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。

音楽活動を通じて地域社会から求められる社会貢献活動を行い、地域社会の活性化及び文化力の向上に貢献します。

そのため、地域社会に開かれた大学として、自治体、音楽関係団体、音楽コミュニティ、さらに校友会等との連携及び協働によるコンサート、公開講座、ワークショップ、音楽祭等を活発に展開します。また、自治体、産業界、音楽コミュニティ等の要請により本学の学生及び教職員を積極的に派遣し、魅力ある地域づくりに貢献します。

6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

本学は、2019年4月に中目黒・代官山キャンパスを開校し、従来の池袋キャンパスとの連携の下、機能性、創造性、知的生産性、安全性及びICT環境等を備えた「クリエイティブ・キャンパス」を創出・運営して、教育研究の質の一層の向上を図るとともに、教職協働による働き方改革を積極的に推進し、教職員及び学生が自ら成長し続ける大学を実現します。

また、附属高等学校を池袋キャンパスに移転統合して実効性のある高大接続改革を推進します。

そのため、大学の将来を見据えた経営戦略に基づく財務計画を策定し、中長期的な財政基盤の確立を図ります。

2. 設置学校

(1)東京音楽大学

音楽学部	音楽学科	器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、 音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、 吹奏楽アカデミー専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
大学院音楽研究科(修士課程)		器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、音楽文化研究専攻、
大学院音楽研究科(博士後期課程)	音楽専攻	

(2)東京音楽大学付属高等学校

音楽科	声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース、 音楽総合コース・セルフデザインクラス
-----	---

(3)東京音楽大学付属幼稚園

3.沿革

【明治】

1907年(明治40年) 5月 東洋音楽学校設立(神田区)

【大正】

1924年(大正13年)11月 豊島区雑司ヶ谷(現南池袋)に移転

【昭和】

1947年(昭和22年) 5月 財団法人東洋文化学園と改称

1949年(昭和24年) 3月 東洋高等学校(音楽科)開設

1950年(昭和25年) 2月 東洋幼稚園開設

1951年(昭和26年) 3月 学校法人東洋文化学園認可

1954年(昭和29年) 2月 東洋音楽短期大学設置認可

1963年(昭和38年) 2月 東洋音楽大学設置認可

1969年(昭和44年) 8月 名称変更認可

- ・学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称
- ・東洋音楽大学を東京音楽大学に改称
- ・東洋高等学校を東京音楽大学付属高等学校に改称
- ・東洋幼稚園を東京音楽大学付属幼稚園に改称
- ・東洋音楽学校を東京音楽学校に改称

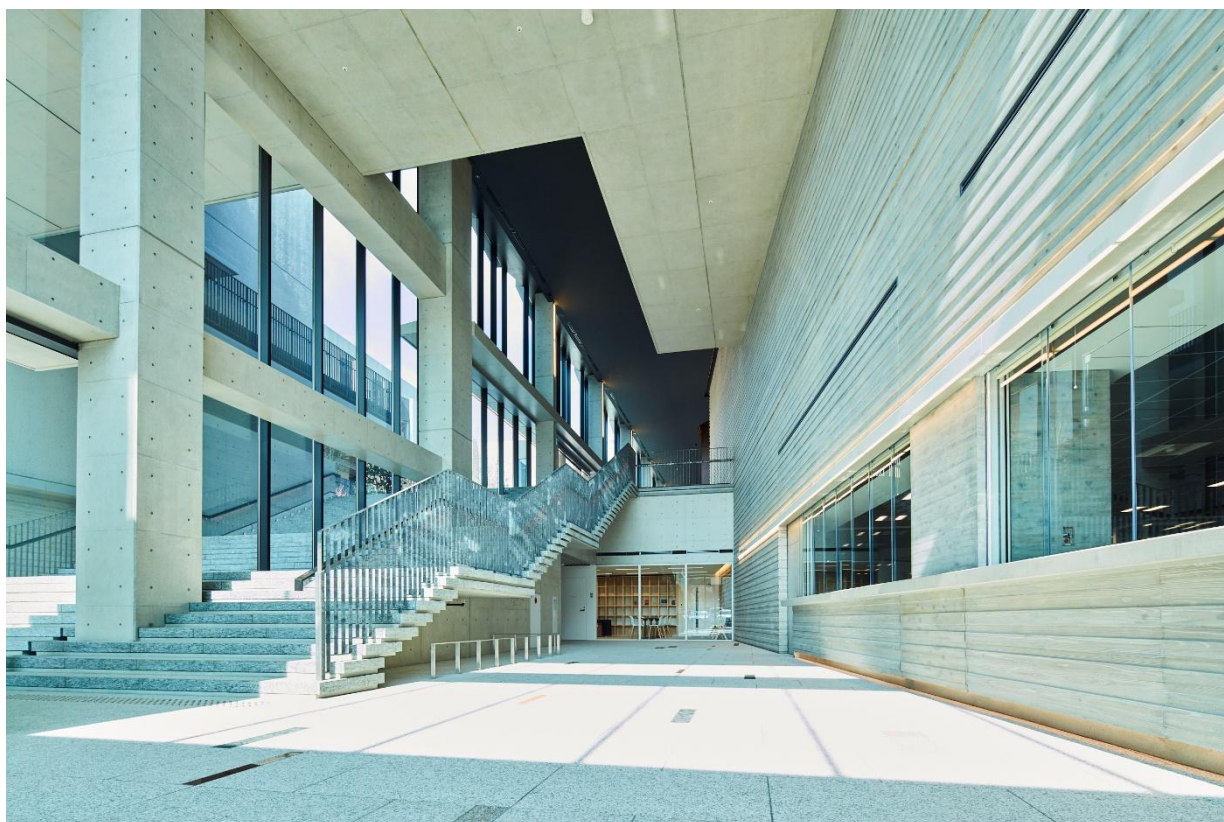
1970年(昭和45年) 3月 東洋音楽短期大学廃止認可

1976年(昭和51年) 7月 東京音楽学校廃止認可

【平成】

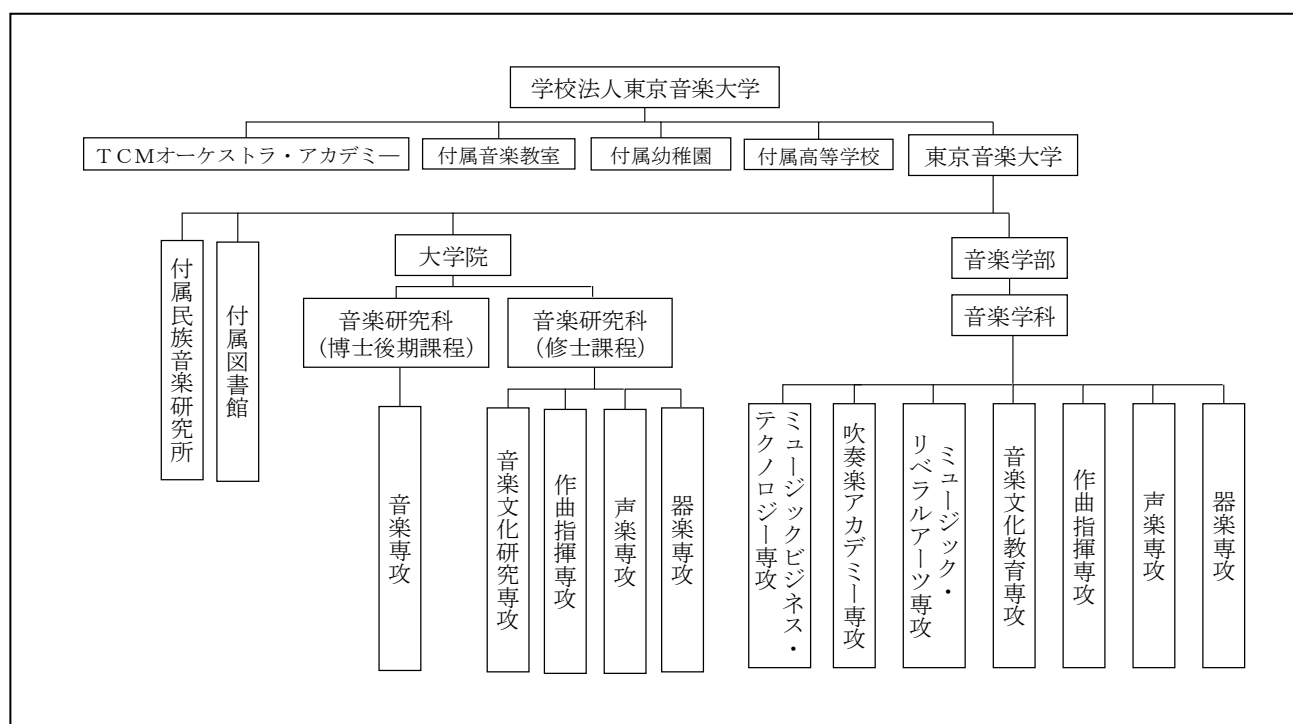
1993年(平成5年) 3月 東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可

2007年(平成19年)5月	創立100周年を迎える
2014年(平成26年)4月	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程開設
2017年(平成29年)4月	東京音楽大学音楽学部音楽学科ミュージック・リベラルアーツ専攻開設
2019年(平成31年)4月	中目黒・代官山キャンパス開校 東京音楽大学音楽学部音楽学科吹奏楽アカデミー専攻開設
【令和】	
2020年(令和2年) 4月	東京音楽大学付属高等学校池袋キャンパス開校 東京音楽大学音楽学部音楽学科音楽文化教育専攻改編 東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽文化研究専攻改編
2021年(令和3年) 4月	東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻の3コース（作曲「映画・放送コース」、「ポピュラー・インストゥルメンツコース」、「ソングライティングコース」）を作曲「ミュージック・メディアコース」に改編
2022年(令和4年) 2月	TCM学生寮竣工
2024年(令和6年) 4月	東京音楽大学ミュージックビジネス・テクノロジー専攻開設



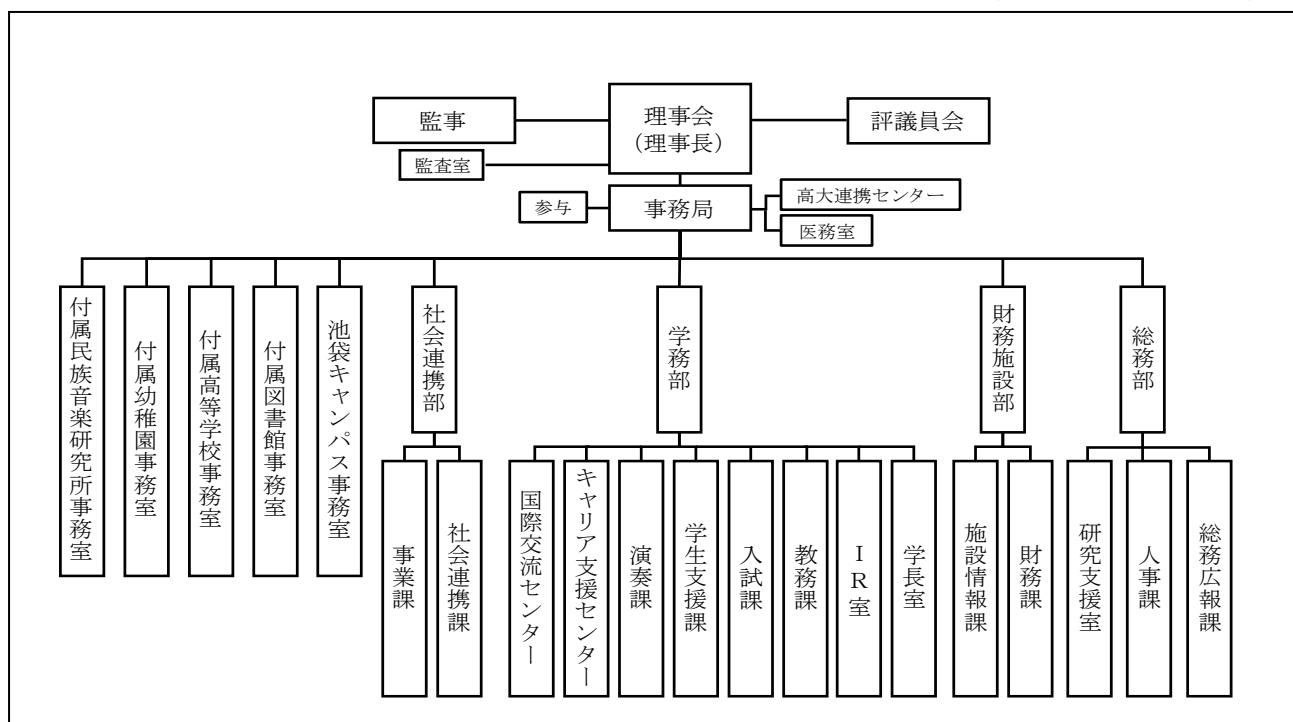
4. 学校組織図(教育・研究組織)

(2025年3月31日現在)



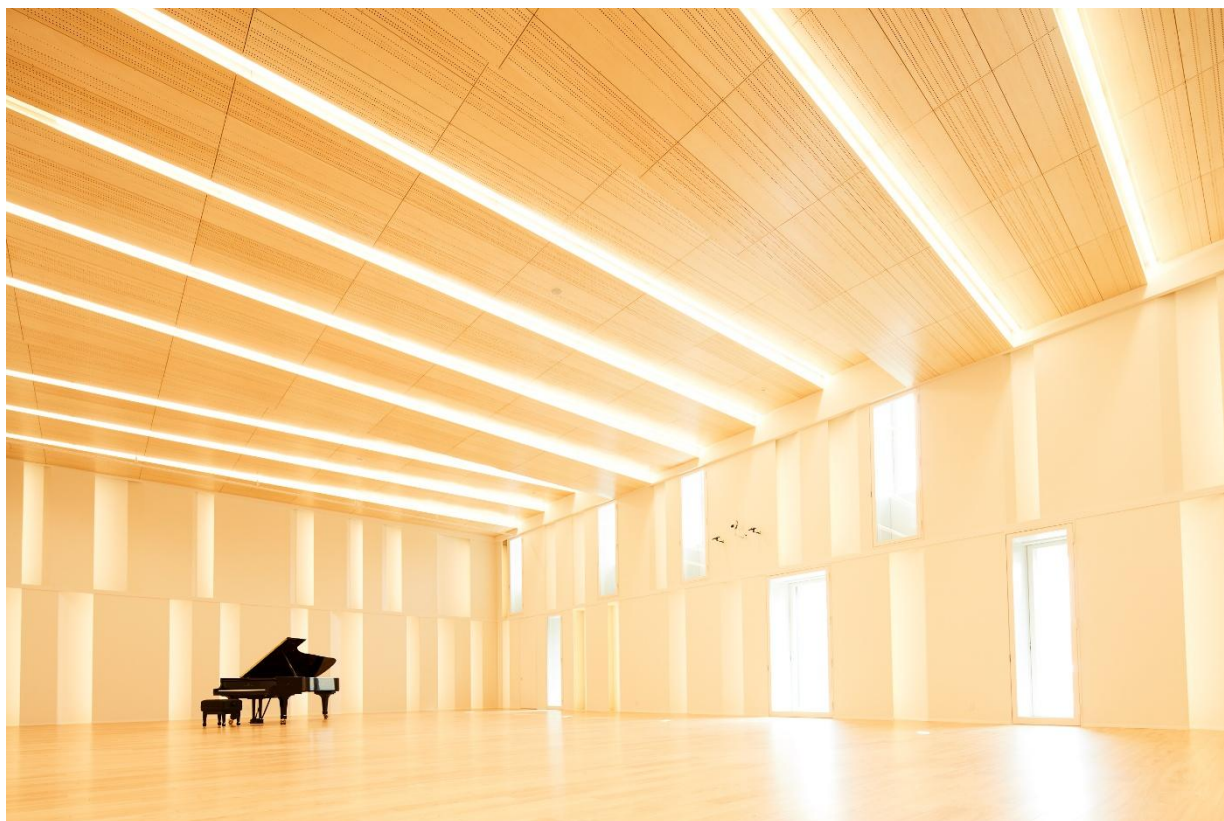
5. 法人・事務組織図

(2025年3月31日現在)



6. 役員・評議員の概要(2025年3月31日現在)

役 員	理 事 長	丸山 恵一郎		
	理事・学長	野平 一郎		
	理 事	高祖 敏明	保倉 裕	福島 啓充
		池田 千絵	武石 みどり	佐藤 敏明
	監 事	船戸 輝久	陶山 嘉代	
評議員	池田 千絵	石井 克典	大谷 康子	岡田 敦子
	勝島 壮介	釜洞 祐子	神谷 百子	小森 輝彦
	佐藤 敏明	武石 みどり	豊永 聡美	中西 雅子
	福島 啓充	藤田 茂	藤田 義明	丸山 恵一郎
	渡邊 圭介			



7. 設置学校の入学定員・収容定員・学生数

(2024年5月1日現在)

(1)大学 入学定員 310 収容定員 1240 (単位：人)

音楽学部		学生数		2024 年度 入学者数
		男	女	
音楽学科	1374	323	1051	354
器楽専攻	841	180	661	194
声楽専攻	197	31	166	47
作曲指揮専攻	102	53	49	23
音楽文化教育専攻 (3、4 年生は音楽教育専攻)	35	5	30	5
ミュージック・リベラルアーツ専攻	96	5	91	26
吹奏楽アカデミー専攻	57	22	35	13
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	46	27	19	46

(2)大学院修士課程 入学定員 70 収容定員 140

研究科		学生数		2024 年度 入学者数
		男	女	
音楽研究科	181	45	136	83
器楽専攻	100	21	79	47
声楽専攻	34	7	27	11
作曲指揮専攻	25	14	11	15
音楽文化研究専攻	22	3	19	10

(3)大学院博士後期課程 入学定員 3 収容定員 9

音楽研究科		学生数		2024 年度 入学者数
		男	女	
音楽専攻	16	7	9	5

(4)付属高等学校 入学定員 70 収容定員 210

東京音楽大学付属高等学校		生徒数		2024 年度 入学者数
		男	女	
	183	46	137	75

(5)付属幼稚園 入学定員 3 年保育約 40・2 年保育約 10 収容定員 150

東京音楽大学付属幼稚園		園児数		2024 年度 入園児数
		男	女	
	124	50	74	28

8. 教職員数

(2024 年 5 月 1 日現在)

(単位：人)

		専 任						兼 任						合計	研究員	事務局	総計
		教授	准教授	講師	研究員	教諭	計	特別 招聘 教授	客員 教授	兼任 准教授	講師 特別 招聘 講師	助教	助手	計			
ピアノ		4	8	8			20	15			49			64	84	7	91
弦		7	1	1			9	14	1	18			1	34	43		43
管・打		8	4				12	12	4	33	2	6	57	69			69
声楽		6	5	4			15	4	2	32	4	14	56	71	11		82
作曲	芸術	3	2	1			6	3		13			2	18	24		24
	ミュージック・ メディアコース	1	3	3			7	8		5				13	20		20
指揮		1		1			2	4		20			32	56	58	4	62
音楽文化教育		4	3				7	6	2	32				40	47	2	49
吹奏楽アカデミー		3		1			4	4		16			1	21	25		25
共通教育	ミュージック・ リハビリアート							7			4			11	11		11
	ミュージックビジネス・ テクノロジー							7	1	2				10	10		10
	外国語		2				2	1		23				24	26		26
	教養科目	3	2				5	3		11				14	19		19
ソルフェージュ		1	2				3	1		8			3	12	15		15
教職課程		2	3				5	2		9				11	16		16
事務局																80	80
合計		43	35	19	0		97	91	10	275	6	59	441	538	24	80	642
高校				1		11	12			24				24	36	1	37
幼稚園						13	13	1		6				7	20	2	22
音楽教室										13			2	15	15		15
総計		43	35	20	0	24	122	92	10	318	6	61	487	609	24	83	716

Ⅱ.事業の概要

1. はじめに

学校法人東京音楽大学の2024年度事業計画は、責任ある教育機関として必要な諸施策をとりまとめた「第Ⅱ期中期計画（2022年4月～2027年3月）」の中盤を担うものである。教職員は一丸となって計画の遂行に取り組んだ。

法人は、2025年4月施行の改正私立学校法（以下、「改正私学法」という。）に基づく寄附行為変更認可申請を行い、2024年12月19日付で変更認可された。また、大臣所轄法人に義務づけられた「内部統制システム整備の基本方針」を策定すると共に、日本私立大学協会による「私立大学ガバナンス・コード＜第2.0版＞」に準拠した『学校法人東京音楽大学ガバナンス・コード』適合状況に係る点検・確認に関する方針を更新するなど、改正私学法の趣旨に則したガバナンス体制を整えた。

教学・研究組織である大学は、本学の使命を現代的な視点から検証し、「教育研究上の目的」を達成するための施策として、教育研究の内部質保証を推進し、自己点検・評価や学修成果・教育成果の把握・可視化などに取り組んだ。音楽を基軸とした国際交流や地域連携・社会貢献活動にも注力し、海外協定校の拡大・交流促進、本学キャンパスが在在する豊島区・目黒区を中心に地域社会との連携を深めた。

伝統的かつ高度な音楽教育の実践に留まらず、音楽とICTを融合した新専攻を開設し、学生の多様な関心領域に応えたことに加え、計画的な施設・設備の整備により、学生のニーズに即した学修環境を提供した。さらに、学生が安心して修学できるよう就職及び経済的支援の強化を図った。

本学のこうした取り組みは、公式サイト、SNS及びオープンキャンパス等での積極的な発信も相俟って奏功し、2025年度入学試験では募集人員310名に対して405名の入学者を確保するに至っている。

設置学校である付属高等学校は、学習指導要領改訂に則した教育課程を2024年4月から開始したことを契機に、音楽のみならず主要教科の充実を図ることにより、さらにバランスの取れたカリキュラムを整えた。加えて高大一貫教育の強みを生かし、より高度な音楽教育の実現及び生徒・学生間交流の加速化に努めた結果、2025年度入学者は募集定員を大きく上回る入学者を確保することができた。

また、付属幼稚園は、音大の教育資源を活用した情操教育の実践のみならず、英語早期教育や放課後課外授業により園児の成長を支援してきた。また、社会の要請に応え、預かり保育事業の拡充にも努めている。2025年度入園者は若干の欠員が出たものの、引き続き保護者と園児に寄り添った教育活動に一層注力し認知度の向上を図ることとする。

教育機関を取り巻く環境が多様化・複雑化する中、本学は、選ばれる音楽大学であり続けるため、これからも留まることなく計画の達成を目指す。

2. 第Ⅱ期中期計画、事業計画への対応状況

(1) 東京音楽大学に関する計画

① 大学の使命・目的

急激に変化する社会に対応すべくディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3ポリシーを進化させるため、その礎となる「教育研究上の目的」の基本案について、学長のリーダーシップの下、ワーキンググループを設置し検討した上で決定した。今後、教学マネジメント会議にて新たな3ポリシー策定を検討する。

② 内部質保証の推進

- 1) 第Ⅱ期中期計画に基づく自己点検・評価シートについて、事務局が原案を作成し、自己点検・評価委員会で検証した上で確定した。
- 2) 自己点検・評価シートについて、学長を委員長とする内部質保証推進委員会に報告。改善の指示を受けるとともに、自己点検・評価シートをホームページに公開した。
- 3) IR活動の一環として2023年度FACTBOOKを作成しホームページに公開した。また、IR活動で得られた情報に基づき音楽大学を取り巻く経営環境を理解するための理事研修を行った。

③ 教育の内部質保証

- 1) 教学マネジメント会議にて、「教育研究上の目的」の基本案の決定に伴い、2025年度に新たな3ポリシーの策定、2026年度以降に新たな3ポリシーに基づいた教学マネジメントを確立するという方針を確認した。
- 2) 厳格かつ適正な成績管理を実施するとともに、学修成果・教育成果の把握・可視化に取り組んだ。その一環として専攻実技レッスン科目について、教員に担当学生の成績評価(点数)の公表を行った。
- 3) 国際化の格段の推進、国際的互換性のある教育の実施及びグローバルな人材育成に向けて以下の取り組みを行った。
 - ・エコールノルマル音楽院(仏)と学術協力協定及び学生交流協定を新規締結、モーツァルテウム大学(奥)と協定更新をはじめヨーロッパの音楽教育機関との間で交流を実施した。あわせてミュンヘン音大(独)、イモラ・アカデミー(伊)、トビリシ音楽院(ジョージア)、ジュリアード音楽院との交流の具体化に向けて交渉を進めた。
 - ・日本語に不自由な学生に対して、教養科目、外国語科目として単位認定しているMLA専攻科目の「リベラルアーツ科目」をオープン科目とし他専攻でも履修することができるようにした。
 - ・協定校との交流で、短期留学は10名を派遣、5名を受入れたことに加え、ヨーロッパ研

修旅行、ワールドユースオーケストラ参加代表者の座談会、海外招聘教員による特別講座、公開レッスン等の多彩な国際交流事業を実施した。

- 4) 管弦楽、吹奏楽、室内楽、ソロとも主催公演として多彩な演奏機会を提供するとともに、外部委託の演奏会では地域・他校・他カテゴリ（医科大学）との連携、オーケストラ合宿運営や静岡で開催されたバンドクリニックへの出演等のため演奏団体を引率するなど演奏能力向上を目的として取組んだ。

④ 学生募集

- 1) 学生確保に向け以下の取組みを行ったことで、2025年度入学者は募集人員を大きく上回る学生確保に成功した。

【2025年度入学試験結果】

大学	募集人員310人	入学者405人
大学院修士課程	募集人員 70人	入学者 94人
大学院博士後期課程	募集人員 3人	入学者 5人

- ・ ホームページ、SNS（インスタグラム、X等）を活用し、本学の諸活動について効果的に発信した。また、オープンキャンパス、夏期及び冬期受験講習会に加え、キャンパス開放Dayを初めて実施するなど参加型イベントの充実を図り、本学の魅力を伝えるとともに懇切丁寧な対応により志願者獲得に繋げた。
- ・ 学校推薦の指定校を一般高等学校にも拡大、総合型選抜の募集対象を見直し一部の選考で社会人の募集を開始、受験生確保に苦戦している専攻を中心に入試機会（募集入試区分の追加）や試験科目の見直しを実施した。実技等音楽能力を問うだけでなく志望理由や面接による多角的な審査、口述試問やプレゼンテーションによる選抜方法を採り入れた。
- ・ 留学生の中でも特に受験が多い中国留学生予備校での説明会実施、日本の音楽大学に関心を持つ海外の音楽教室等を対象にオンライン説明会、オンラインレッスン、来日時の見学対応等を実施した。

⑤ 学生支援

- 1) FD活動の一環として、全教職員を対象に発達障がい学生についての対応セミナーを実施した。
- 2) 従来博士後期課程学生のみを対象としていた研究支援職員の業務を、修士課程学生や学部学生にまで拡大した。
- 3) 学修支援及び学修環境改善のため「学生生活実態調査」を実施し、教職員で共有するとともに、学生にはWeb上でフィードバック。学生からの意見や要望について回答するとともに、改善された点について学生に周知する。
- 4) 入学奨学金、大規模自然災害罹災学生授業料減免、複数就学者授業料減免等の本学独自の奨学制度により学生を経済的に支援するとともに、国の高等教育の修学支援新制度に関する学生への情報周知にも注力した。
- 5) 傑出した才能を有する成績優秀者の支援を目的に、カリキュラム等で柔軟な配慮をする

とともに、特別特待奨学生、給費奨学生の選抜を行った。また、学校推薦枠がある外部奨学金の積極的な活用に取り組んだ。

- 6) 学生自治組織である自治会、芸祭実行委員会、クラブ連盟、卒業事業対策実行委員会について、学生たち自身が各組織の連携、企画立案、実施運営、経費管理等ができるように支援した。
- 7) 音楽分野のみならず多様な進路希望に応えるべく、様々なガイダンスや学内企業説明会を実施。また、利用度の高いSNSであるLINEを活用しインターンシップ情報をはじめとした情報発信を充実させ低学年からの自身のキャリア構築への関心を高めた。
- 8) 9月に池袋キャンパス図書館をリニューアルオープンし、グループ学習室、Labの利用を開始。各種データのアーカイブ整理更新、豊島区立図書館に加えて目黒区立図書館利用者の受入開始、ライブラリーセミナー「源氏物語と音楽」を地域住民に公開する等に取り組んだ。

⑥ 研究及び研究支援

- 1) 2024年度競争的資金の獲得実績として、科学研究費助成事業において新規4件、文化庁「大学における文化芸術推進事業」において継続1件の採択を受けた。また、2025年度採択に向けて科学研究費助成事業に10件、民間企業による研究助成金に2件の応募を行った。
- 2) 東京音楽大学競争的資金獲得促進に係る支援に関する内規に基づき、競争的資金の公募に採択された研究者に対して必要に応じて人的支援できることや不採択となった場合でも一定の条件下で研究奨励金を支給できることなどの制度を運用し研究活動を支援した。
- 3) 「研究不正防止ハンドブック」「公的研究費等謝金基準単価表」等の各種ルール及び管理体制等の検証と見直しを行うとともに、コンプライアンス教育に資する取組みを充実・強化することで研究費の管理及び研究活動の適正化並びに研究倫理の向上を図った。
- 4) 前年度までの方針を継承し、多様な研究員を受け入れることにより、本学の研究実施体制を強化し、研究活動の活性化を図った。2024年度の業績としては、共同研究員4名の受け入れを行った。
- 5) 附属民族音楽研究所の活動として、文化庁「大学における文化芸術推進事業」に採択された「日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント人材育成プラットフォーム」事業の最終年度として取り組んだことに加え、同研究所の教員が在日外国公館、共同研究員らとの協力による研究成果を民研フォーラムとして計3回開催した。
- 6) 2022年度より千葉大学大学院医学研究院と演奏家の演奏動作に関する共同研究契約を締結し共同研究を実施した。研究テーマは「パフォーミングアーツ医学分野における演奏家の上肢機能および演奏動作に関する研究」、研究実施期間は2026年3月31日までの予定。

⑦ 教員・職員

- 1) 教育の質の保証をするため、2024年度から東京音楽大学専任教員規程に基づき、①教育活動、②研究活動、③学務、④その他の貢献の各項目に沿って教員評価を実施した。
- 2) 専任職員（管理職候補）の公募を実施し、30～40代を中心とした計7名をキャリア採用。さらに3年ぶりに新卒3名を採用し各部署に適正配置した。
- 3) 教員の職能開発のため、授業アンケート結果をFD委員会で検討し、各授業にフィードバックを行った。
- 4) 教職員が共有すべきテーマをSD委員会で検討・選定し、2024年度は外部講師を招き、「発達障害の特性を持つ学生と教職員としての対応について」をテーマにSD研修会を実施した。

⑧ 地域連携・社会貢献活動

- 1) 「目黒区公民連携プラットフォーム」への参画、豊島区が地元企業等で作る企業連携プラットフォーム「チームとしま」への参加等により、大学が立地する目黒区・豊島区との連携を強化。音楽文化の振興と地域・社会の活性化のため、行政との連携講座、区・市民向けコンサート開催等の諸活動を実施した。
- 2) 本学が主催する社会人講座を次のとおり実施し、いずれも受講者から好評を博した。
 - ・指揮研修講座
 - ・社会人ピアノ個人レッスン
 - ・民族音楽研究所の社会人講座（ガムラン講座、社会人特別講座、アンサンブル等講座）
 - ・社会人公開講座「社会人の学びの場」
- 3) 早期音楽教育の推進を目的に付属音楽教室、国際青少年オーケストラの運営に力を入れた。付属音楽教室では、ホームページのリニューアル、臨時入室試験の導入により在室生数は昨年度比で大幅増となった。国際青少年オーケストラについては、2023 年秋期セメスターから 1 年半の休止を経て 2024-2025 春期セメスターの活動を再開した。
- 4) 高度な演奏能力を備えた音楽家（職業オーケストラ奏者）育成のために設置するTCMオーケストラ・アカデミー（以下、「オケアカ」という）の持続可能に必要な方策として、①受講3年目のオケアカ生の奨学金制度、②オケアカ生の活躍の場の確保、③依頼演奏会等による活動の場の拡大等を実施した。さらに受講4年目として研修生制度を制定し更なる高度な演奏能力の取得を目指した。

(2)東京音楽大学付属高等学校に関する計画

① 生徒確保

カリキュラムの充実に力を入れたこと及び本校を単願で受験する推薦入試の出願資格や合格判定基準の検討を重ね入学試験の見直しをしたことで、2025年度入学試験の受験者数が募集定員70名に対して100名となった。

② 教育活動

- 1) 2024年4月から学習指導要領改訂に応じた時間割と教育課程を用いた授業を開始し、教育内容の充実を図った。
- 2) 高大一貫教育方針を踏まえ、音楽専門教育に限らず外国語教育、一般科目等での高大連携を深化させるため高校・大学間の定期的な話し合い、高校生の大学主催アンサンブル演奏会参加等の生徒・学生間交流を行った。
- 3) 保護者からの要望を受け、10月10日（木）、11日（金）の2日間、全学年の全授業を保護者に公開し、感想をアンケートで集めた。今後も教育活動の評価を得る方法として継続する予定である。

③ 生徒支援・進路

- 1) 高大同一キャンパスの特性を踏まえた学修環境の改善・充実、生徒の主体的な学修のために必要な環境づくりと支援を行った。
- 2) 生徒間トラブルに関して有識者の意見を踏まえた生徒及び保護者への対応、精神的な理由で教室での授業が受けられない生徒への個別対応など、生徒の生活環境を支援した。
- 3) 生徒の学外での活動（主にコンクール受験や個人の演奏活動）について各々の生徒が必要とするサポートを行った。
- 4) 大学との連携により付属高校から大学への推薦制度の要点・変更点を把握して生徒の進路指導を行った。その結果、2024年度卒業生の9割が本学に内部進学した。

④ 東京音楽大学付属高等学校ビジョン(仮称)の策定

東京音楽大学付属高等学校ビジョンを「音楽を主軸に、自分らしさを解き放ち クリエイティブに生きる人材を育みます。」と策定することを検討した。

(3) 東京音楽大学付属幼稚園に関する計画

① 園児確保

- 1) 志願者アンケートの実施により保護者の幼稚園に対する期待と要求を把握し、保育活動へ反映させるように努めた。また、入園辞退者に対するアンケート実施により、辞退理由を把握し園児確保のための対策を検討した。
- 2) 入園案内の早期作成、ホームページを活用し説明会、公開保育、考査日程等の情報を迅速に発信した。また、入園願書の配布・出願時期に合わせて駅及び都電社内窓上にポスターを掲出した。
- 3) 未就園児とその保護者を対象とした体験保育「ピッコロランド」を3月を除き毎月開催。毎回工夫を凝らしたプログラムによりカリキュラムの特色や活動の様子を保護者に知ってもらえるように努めた。

② 教育活動

- 1) 幼稚園教育要領に基づいた各領域の調和がとれた質の高いカリキュラムを構築するため、毎月カリキュラム検討会議を実施した。
- 2) 音楽を通じた情操教育を実施するため、保育の中で合唱、器楽演奏、鼓笛、オペレッタ等を行った。また、音楽の基礎知識・技能を育むため、年中組から始まる音楽の個人レッスン（ピアノ、ヴァイオリン、うた、マリンバ）を行った。
- 3) 英語早期教育について、直接雇用の外国人講師により行ってきたが、園児がより楽しく英語に親しめるように英語教育会社との法人提携契約を結ぶことを決定した。
- 4) 園児の心身の成長や健全な人格形成を育むため、昨年度に引き続き、放課後課外授業として、「絵画造形教室」「英語教室」「体操教室」「学研プレイルーム」を実施した。

③ 園児支援

- 1) 安全かつ快適に集団生活ができる教育環境を整えるため耐震改修及びリニューアル工事を行った。
- 2) 多様な危機への対応を図るため、危機管理マニュアルを策定し、危機管理を強化した。
- 3) 心理カウンセラーによる定期的な発達障害児及び予備児童のケアを継続し、サポートを要する園児については子ども家庭支援センターと連携し丁寧に対応した。
- 4) 預かり保育を毎日かつ最長延長時間まで利用する家庭が増加したことから、連絡用アプリを効果的に活用し、保護者のニーズへ柔軟に対応かつ信頼を得られる保育を行うことに努めた。

④ 東京音楽大学付属幼稚園ビジョン(仮称)の策定

東京音楽大学付属幼稚園ビジョンを「音楽大学付属の特性を活かし、演奏やレッスンなどを触れたり、学んだりする中で、豊かな感性や確かな技術を育みながら、音楽に限らず、さまざまなことを広く学び、体験することで、伸び伸びと柔軟に考える力と社会性を育成いたします。成長への第一歩となる幼少期の情操教育・教養教育を大切にしています。」と策定することを検討した。

(4) 学校法人運営に関する計画

① 法人経営

- 1) 2025年4月1日施行の改正私立学校法に対応し、理事・理事会及び評議員・評議員会の権限配分の整理と建設的な協働と相互牽制の確立及び監事のチェック機能の強化等の趣旨を踏まえ、寄附行為を策定、12月に認可された。また、「内部統制システム整備の基本方針」を制定し、コンプライアンス規程の改正に着手した。
- 2) 監事、会計監査人及び監査室との定期的な打合せを通じて、監査に必要な情報の伝達と共有と意思疎通を図った。また、業務監査及び会計監査については、計画に基づき着実に実施し、指摘事項及び具体的な提言を行った。
- 3) 大学と設置学校（附属高等学校、附属幼稚園）間の情報共有と連携を図った。次年度以降、一層の連携推進を図る。また、附属高校では校長（副学長兼務）・教頭・主幹教諭のラインによるガバナンス体制を強化した。附属幼稚園では幹部教諭のヒアリングを実施し、新たに「教頭」職を設けて幼稚園の組織体制の再構築を図った。

② 財務基盤

- 1) 中期財務計画に基づき中期計画と一体となった予算編成を行い、合理的な予算執行を実現することにより、適切な財務運営を推進した。また、本学を取り巻く経営状況の変化に伴い、中長期財務計画の適宜検証・見直しを実施する。
- 2) 予算準拠主義を徹底による人件費管理、専任教員の各種手当の「人事評価点」への移行、システム化・人員体制の見直し等による超過勤務の削減など、支出の中でも大きな割合を占める人件費削減に取り組んだ。
- 3) 事務の効率化・合理化の一環として、出願から入学までの一連の流れをシステムで管理できる体制を整えた。これにより合格から入学までの案内や学生情報の入力がオンラインで実施できるようになる等の改善が図られた。

③ 運営基盤

- 1) 適切な人事評価とそれに基づく給与支払のため、2024年度から「東京音楽大学専任教員給与規定」に基づいた専任教員への給与支払を開始。非常勤教員や正職員に関する諸規程の改正について検討を進めた。
- 2) 大学職員としての資質・能力向上のため、自薦・他薦による「自己研修」「業務研修」により、多数の職員がスキルアップの機会を得て、課長会の場で成果を報告した。

④ 監査機能

- 1) 計算書類を定期的に確認し、意見交換を行うなど、適正な会計処理のため監査を行った。また、会計監査人の監査計画に基づき、指摘事項に対する是正措置を促すとともに、関連する業務改善に繋げた。

⑤ 施設環境の整備

- 1) 機能性、創造性、知的生産性、安全性及びICT環境を整えた「クリエイティブ・キャンパス」創出のための一環として、研究室移転を含めた通信環境の刷新、図書館改修後のネットワーク環境再整備を行った。
- 2) 改修整備計画に基づき、幼稚園及びB館の安全性を備えるための整備事業を進めた。また、施設管理会社及び外部協力会社との協働で池袋キャンパスの現状分析を行い、中長期の整備計画の素案を作成した。

⑥ 環境保全、人権、安全への配慮

- 1) SDGs推進センターは、環境方針に基づく13のSDGs推進施策を策定・公表し、これら施策の実施状況を踏まえ、学内関係部署との連携強化の点検評価を行った。
- 2) 本法人の設置学校の学生、生徒、園児、教職員等の安全確保を図るため、2024年度から「学校法人東京音楽大学安全衛生管理規程」を施行し、安全衛生管理体制の基本的骨格とした。
- 3) 2025年度から完全週休2日制を導入するため就業規則を改正し所定休日を大幅に増やし、職員のワークライフバランスの向上を支援した。

⑦ 法令遵守

- 1) 2025年4月施行の改正私立学校法に対応するため寄附行為変更認可申請を行い認可を受けるとともに関連する諸規程等の整備・更新を進めた。教職員への周知についてはグループウェアを活用して適宜行った。
- 2) 研究不正を防ぐため、文科省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく本学の不正防止体制を「研究不正防止ハンドブック」へ収録し、学内に周知した。
- 3) 公益通報者の保護と法令遵守の向上を図るために、公益通報者保護規程について、関連規程の更新と共に引き続き周知に努めた。
- 4) 学内の情報セキュリティに関する意識の向上を図るとともに、体制を強化した。

⑧ 情報公開

- 1) 法定の情報公開を関係部署と連携のもと、期日内に公表した。
- 2) IR情報として、「FACTBOOK2023」をホームページ上で公開した。
- 3) 創立120周年に向けて本学の魅力を発信するためホームページでの情報公開の充実を図るとともに、付属幼稚園、付属高等学校の情報をより効果的に発信するためにホームページの見直しに着手した。

3. その他

(1) ミュージックビジネス・テクノロジー専攻開設

2024年4月、音楽とICTを専門的に学ぶ「ミュージックビジネス・テクノロジー専攻」(MBT専攻)を開設。クラシックのみならずポップミュージックでも我が国トップの教育力をもつ東京音楽大学で「音楽×ICT」を身につけ、エンターテインメントの未来、ビジネスの未来を拓く人材を育成する。

(2) 音楽大学アライアンス協定締結による学校運営及び教学改革

2025年1月、東京音楽大学は文部科学省および日本私立学校振興・共済事業団による令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において対象大学に選定された。東京音楽大学は、昭和音楽大学、平成音楽大学と連携協定し、物品の共同調達や施設・設備の共同利用、実習事業の共同実施を通じ、経営改革及び教育改革を図る。

(3) 3T Project2025開催

2025年3月、中目黒・代官山キャンパス「音楽のみち」にて東京音楽大学、多摩美術大学、東京電機大学理工学部の3大学の学生が連携し、分野を超えた作品を制作・発信する「人と街と芸術を繋ぐ」プロジェクトとして、3T Project2025を開催。

(4) 東京音楽大学付属幼稚園の全面リニューアル

2024年12月、東京音楽大学付属幼稚園池袋キャンパス園舎を全面リニューアルした。新しくデザインされた明るく親しみやすい園舎と園庭は、子どもたちが毎日の通園を楽しむような空間を提供し、子どもたちの遊びと学びの両方をサポートする設計となっている。



Ⅲ.財務の概要

1. 決算の概要

「第Ⅱ期中期計画（2022年度～2026年度）」の3年次目として、第Ⅱ期教育環境整備（特に池袋キャンパス改修計画）について計画通り実施した。

「ミュージックビジネス・テクノロジー専攻」開設・「音楽文化教育専攻」改編等、各専攻の充実並びに付属高等学校・付属幼稚園における教育内容充実を推進した。

予算編成及び執行について、「学生本位」の信条のもと、編成重点方式採用と、執行についても、必要性の是非を検討しつつ、きめ細かく実施した。

(1) 貸借対照表の状況

法人全体の総資産は 388 億円となり、前年度より 7 千万円減少となっている。

○有形固定資産：+276 百万円

・BC 館改修工事 741 百万円 他減価償却費等

○固定負債：△72 百万円

・長期借入金の減少（元本返済による）、退職給与引当金の減少。

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

貸借対照表

2025年3月31日現在

■資産の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	36,483	36,251	232
有形固定資産	28,167	27,890	276
土地	9,978	9,978	0
建築物	17,009	16,650	358
構築物	71	67	3
教育研究用機器備品	273	252	21
管理用機器備品	20	43	△ 22
図書	808	807	1
車 輦	0	0	0
建設仮勘定	6	92	△ 86
特定資産	1,277	1,303	△ 25
第3号基本金引当特定資産	224	224	0
退職給与引当特定資産	1,053	1,079	△ 25
その他の固定資産	7,038	7,056	△ 17
借地権	2,515	2,515	0
電話加入権	0	0	0
有価証券	4,482	4,482	0
排出権	3	3	0
商標権	16	20	△ 4
ソフトウェア	14	34	△ 19
長期前払金	6	0	6
流動資産	2,302	2,605	△ 302
現金預金	1,977	2,248	△ 270
未収入金	298	333	△ 35
前払金	26	23	3
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
資産の部 合計	38,786	38,856	△ 70

■負債の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	8,926	8,998	△ 72
長期借入金	7,870	7,915	△ 45
退職給与引当金	1,053	1,079	△ 25
長期未払金	0	1	△ 1
長期前受金	2	2	0
流動負債	1,811	1,890	△ 79
短期借入金	795	804	△ 9
未払金	271	403	△ 132
前受金	703	640	63
預り金	41	42	0
負債の部 合計	10,737	10,888	△ 151

■純資産の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	36,446	35,972	474
第1号基本金	35,940	35,465	474
第3号基本金	224	224	0
第4号基本金	282	282	0
繰越収支差額	△ 8,397	△ 8,004	△ 393
翌年度繰越収支差額	△ 8,397	△ 8,004	△ 393
純資産の部 合計	28,049	27,967	81
負債及び純資産の部 合計	38,786	38,856	△ 70

(2) 収支計算書の状況

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

資金収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

収入の部

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,438	3,408	30
手数料収入	25	27	△ 2
寄付金収入	40	11	28
補助金収入	614	619	△ 4
資産売却収入	0	2	△ 2
付随事業・収益事業収入	72	57	15
受取利息・配当金収入	98	99	0
雑収入	98	148	△ 50
借入金等収入	750	750	0
前受金収入	561	703	△ 141
その他の収入	1,368	1,544	△ 175
資金収入調整勘定	△ 739	△ 939	200
前年度繰越支払資金	2,248	2,248	
収入の部 合計	8,576	8,679	△ 102

支出の部

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,517	2,416	100
教育研究経費支出	1,100	1,086	13
管理経費 支出	220	242	△ 22
借入金等利息支出	41	44	△ 2
借入金等返済支出	795	804	△ 9
施設関係支出	702	695	6
設備関係支出	154	83	70
資産運用支出	3	0	3
その他の支出	1,452	1,620	△ 168
〔予 備 費〕	30		30
資金支出調整勘定	△ 221	△ 293	71
翌年度繰越支払資金	1,782	1,977	△ 195
支出の部 合計	8,576	8,679	△ 102

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

活動区分資金収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：百万円)

教育活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	学生生徒等納付金収入	3,408
		手数料収入	27
		特別寄付金収入	10
		經常費等補助金収入	477
		付随事業収入	57
		雑収入	148
		教育活動資金収入計	4,129
	支出	人件費支出	2,416
		教育研究経費支出	1,086
管理経費支出		242	
教育活動資金支出計		3,746	
差引		383	
調整勘定等		△ 22	
教育活動資金収支差額		360	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	1
		施設設備補助金収入	141
		施設設備売却収入	2
		施設整備等活動資金収入計	145
	支出	施設関係支出	695
		設備関係支出	83
		施設整備等活動資金支出計	779
	差引		△ 634
	調整勘定等		△ 21
施設整備等活動資金収支差額		△ 655	
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		△ 295	

その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収 入	借入金等収入	750
		退職給与引当特定資産取崩収入	25
		研修旅行費等預り金収 入	0
		預り金受入収入	1,105
		立替金回収収入	3
		仮払金回収収入	73
		小計	1,959
		受取利息・配当金収入	99
		その他の活動資金収入計	2,058
	支 出	借入金等返済支出	804
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	0
		立替金支払支出	3
		仮払金支払支出	73
		預り金支払支出	1,106
		小計	1,989
		借入金等利息支出	44
		その他の活動資金支出計	2,033
	差引		25
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		24
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 270
	前年度繰越支払資金		2,248
	翌年度繰越支払資金		1,977

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：百万円)

項 目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	703	703	0	0
前期末 未収入金収入	334	189	118	25
期末 未収入金	△299	△132	△141	△25
前期末 前受金	△640	△640	0	0
収入計	97	120	△23	0
前期末 未払金支払支出	403	338	64	0
前払金支払支出	32	28	0	4
期末 未払金	△269	△203	△65	0
前期末 前払金	△23	△20	0	△2
支出計	142	142	△1	0
収入計 － 支出計	△44	△22	△21	0

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

事業活動収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

■教育活動収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,438	3,408	30
手数料	25	27	△ 2
寄付金	40	10	29
経常費等補助金	463	477	△ 13
付随事業収入	22	25	△ 2
雑収入	98	155	△ 56
教育活動収入計	4,089	4,104	△ 15
人件費	2,496	2,392	103
教育研究経費	1,528	1,479	48
管理経費	288	330	△ 42
徴収不能額等	0	1	△ 1
教育活動支出計	4,313	4,204	109
教育活動収支差額	△ 224	△ 100	△ 124

■教育活動外収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	98	99	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	98	99	0
借入金等利息	41	44	△ 2
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	41	44	△ 2
教育活動外収支差額	56	54	1
経常収支差額	△ 168	△ 45	△ 122

■特別収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	0	2	△ 2
その他の特別収入	151	154	△ 3
特別収入計	151	157	△ 6
資産 処分 差額	0	30	△ 30
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	30	△ 30
特別収支差額	151	126	24

〔予 備 費〕	30		30
基本金組入前当年度収支差額	△ 47	81	△ 128
基本金組入額合計	△ 842	△ 474	△ 367
当年度収支差額	△ 889	△ 393	△ 496
前年度繰越収支差額	△ 7,627	△ 8,004	376
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 8,517	△ 8,397	△ 119

事業活動収入計	4,338	4,361	△ 22
事業活動支出計	4,385	4,279	105

2. 基本金明細表・主な財務比率

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

基本金明細表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：百万円)

		要組入高	組入高	未組入高
第1号基本金	前期繰越高	43,176	35,465	7,710
	当期組入高	239	474	△ 235
	当期末残高	43,415	35,940	7,475
第3号基本金	前期繰越高	—	224	—
	当期組入高	—	—	—
	当期末残高	—	224	—
第4号基本金	前期繰越高	282	282	—
	当期組入高	—	—	—
	当期末残高	282	282	—
合 計	前期繰越高	—	35,972	7,710
	当期組入高	—	474	—
	当期末残高	—	36,446	7,475

財務比率

■事業活動収支関係財務比率

(単位：%)

比率項目	算出基準	評価	2022年度	2023年度	2024年度
人件費比率	人件費/経常収入	▼	60.17	59.15	56.93
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	▼	74.14	73.65	70.21
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	△	36.52	35.05	35.19
管理経費比率	管理経費/経常収入	▼	9.39	9.41	7.87
寄付金比率	寄付金/事業活動収入	△	2.10	2.34	0.53
補助金比率	補助金/事業活動収入	△	10.15	12.16	14.20
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	△	18.14	20.39	10.88

■貸借対照表関係財務比率

(単位：%)

比率項目	算出基準	評価	2022年度	2023年度	2024年度
固定資産構成比率	固定資産/総資産	▼	93.33	93.29	94.06
有形固定資産構成比率	有形固定資産/総資産	▼	71.73	71.78	72.62
特定資産構成比率	特定資産/総資産	△	3.42	3.36	3.29
流動資産構成比率	流動資産/総資産	△	6.67	6.71	5.94
固定負債構成比率	固定負債/総負債+純資産	▼	25.17	23.16	23.01
流動負債構成比率	流動負債/総負債+純資産	▼	3.50	4.86	4.67

3. 財産目録

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

財産目録

2025年3月31日現在

(単位：百万円)

Ⅰ. 資産総額	38,786
内 (一) 基本固定資産	36,483
(二) 運用財産	2,302
Ⅱ. 負債総額	10,737
Ⅲ. 正味財産	28,049

(単位：百万円)

Ⅰ. 資産総額		
(一) 基本固定資産		
1. 土地	31,243.25 m ²	9,978
2. 建物	47,644.44 m ²	17,009
3. 構築物		71
4. 教育研究用機器備品	2,959 件	273
5. 管理用機器備品	1,051 件	20
6. 図書	339,439 冊・点	808
7. 車両		0
8. 建設仮勘定		6
9. 借地権	7,149.75 m ²	2,515
10. 有価証券		4,482
11. 特定資産		1,277
12. 排出権		3
13. 商標権		16
14. ソフトウェア		14
15. 長期前払金		6
(二) 運用財産		
1. 現金・預金		1,977
2. 未収入金		298
3. 前払金		26
4. 立替金		0

資産の部 合計 38,786

(単位：百万円)

Ⅱ. 負債総額	
(一) 固定負債	
1. 長期借入金	7,870
2. 長期未払金	0
3. 退職給与引当金	1,053
4. 長期前受金	2
(二) 流動負債	
1. 未払金	795
2. 短期借入金	271
3. 前受金	703
4. 預り金	41

負債の部 合計 10,737

(単位：百万円)

Ⅲ. 正味財産 28,049

IV.資料

1. 2024 年度公的研究費等獲得一覧

(1) 科学研究費助成事業（研究代表者）

研究種目	課題番号	研究代表者	職名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(C)	24K03540	福田裕美	准教授	民俗芸能の伝承コミュニティと社会包摂機能に着目したアートマネジメント論の構築	2024	2027
基盤研究(C)	24K03541	石川晃士郎	講師	音楽大学におけるアントレプレナーシップ教育の有効性	2024	2028
基盤研究(C)	24K03566	大竹紀子	教授	ヘンリー・カウエルに観るアメリカ 20 世紀前衛音楽と日本人	2024	2026
基盤研究(C)	24K03588	小日向英俊	教授	アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ-インド・中国・ブラジル	2024	2026
基盤研究(C)	22K00133	武石みどり	教授	洋楽合奏から交響楽へー明治末期～昭和初期の洋楽受容史再考	2022	2024
基盤研究(C)	21K00118	下道郁子	准教授	明治・大正期の旧制高等学校の応援歌の研究ー集団歌唱の受容と変容	2021	2024
基盤研究(C)	21K00119	太田暁子	講師	女流義太夫に関する音楽学的基礎研究	2021	2024
基盤研究(C)	20K00133	藤田茂	教授	現代音楽のフォルムの想像力：メシアン・デュティユー・ブーレーズの言説と草稿の検証	2020	2024
基盤研究(C)	18K00140	小日向英俊	教授	在日インド系コミュニティの音楽とその動態	2018	2024
若手研究	23K12066	千葉伸彦	講師	アイヌ伝統音楽のソーシャルメディアを利用した新たな教授法	2023	2027
若手研究	20K12896	早坂牧子	准教授	三浦環の歌：録音と演奏評分析による 20 世紀初期日本人声楽家の歌唱スタイル考察	2020	2024
若手研究(B)	17K18128	福田裕美	准教授	民俗芸能公演をめぐるアートマネジメントの基礎的研究ー伝承と創造の観点から	2017	2024
研究活動 スタート支援	24K22450	保崎佑	助教	モルツィン伯爵に仕えたアントニン・ライヒェナウアーの協奏曲の様式	2024	2025

(2) 科学研究費助成事業（研究分担者）

研究種目	課題番号	研究代表者	職名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	24K00018	武石みどり	教授	20世紀序盤の東アジアにおけるピアノ産業と文化（代表機関：一橋大学）	2024	2028
基盤研究(B)	23K20440	千葉伸彦	講師	機械学習による録音データ分析に基づく民俗音楽歌唱の歌唱方法の解明および復元（代表機関：北海道医療大学）	2023	2025
基盤研究(C)	24K03588	淵上ラファエル広志	講師	アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ-インド・中国・ブラジル（代表機関：東京音楽大学）	2024	2026
国際共同研究強化（B）	21KK0035	加藤富美子	共同研究員	ヘリテージ・エデュケーション教員養成プログラムの日本・ブータン共同開発（代表機関：新潟大学）	2021	2024

(3) 文化庁補助事業

補助事業	事業統括	職名	事業名	初年度	最終年度
大学における文化芸術推進事業	福田裕美	准教授	伝承を担うフィールドからまなび、ともにつくり、地域へつなぐアートマネジメント人材育成－伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創出を目指して－	2022	2024

※採択額：2,010万円（2024年度）

2. 2024年度演奏会記録

(1) 東京音楽大学主催演奏会

開催日	演奏会名	場所	入場者数
7月10日(水)	東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別・定期演奏会	横浜みなとみらいホール 大ホール	941名
7月11日(木)	https://youtu.be/HPIpEubz4Vo	東京芸術劇場 コンサートホール	1557名
8月1日(木)	ピアノ演奏会 ～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～ I : https://youtu.be/kxqIO7qDOCE II : https://youtu.be/mkpTOcn9vw4 III : https://youtu.be/NSyVyZ_BbIY	東京文化会館 小ホール	417名
9月7日(土)	第14回 声楽教員によるコンサート https://youtu.be/R6Ura8gQdyU	本学100周年記念ホール	240名
9月14日(土)	第3回 ピアノ教員による Collaborative Piano Concert https://youtu.be/NYlp3qambCs	本学 TCM ホール	216名
9月21日(土)	第16回 ピアノ教員によるコンサート	本学 TCM ホール	271名
9月22日(日)	学内オーディション合格者による ソロ・室内楽定期演奏会	本学 TCM ホール	282名
10月12日(土)	東京音楽大学コンクール優勝者コンサート	本学 TCM ホール	217名
11月23日(土・祝)	学内「第九」演奏会	本学100周年記念ホール	504名
12月4日(水)	東京音楽大学シンフォニーオーケストラ定期演奏会	東京文化会館 大ホール	1190名
3月17日(月)	東京音楽大学 卒業演奏会	東京文化会館 小ホール	289名

藤田医科大学との共催の演奏会

開催日	演奏会名	場所	出演
4月14日(日)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.7 今こそ音楽大学×医科大学 ふたつの力を社会に！	本学 TCM ホール	ピアノ三重奏
6月23日(日)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.8 曇りがちな腸内を晴れやかに 一腸活最前線	本学 TCM ホール	金管五重奏
8月20日(日)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.9 今こそ音楽大学×医科大学 ふたつの力を社会に！	鯉城ホール	弦楽四重奏

開催日	演奏会名	場所	出演
9月8日(日)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.10 想定外の連続 医師が伝える災害と医療	本学 TCM ホール	声楽
12月25日(水)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.11 健康へのヒントがいっぱい 私のカラダの声を聴く	Halle Runde	ヴァイオリン
2月23日(日)	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.12 カラダよろこぶととう 健康を奏でる栄養を学ぶ	本学 TCM ホール	ピアノ

(2) 外部団体からの出演依頼による演奏会

(管弦楽・吹奏楽・合唱)

開催日	演奏会名(主催)	場所	出演
4月6日(土)	日曜劇場「さよならマエストロ」コンサート (TBS)	東京オペラシティコンサートホール	「さよならマエストロ」特別オーケストラ ※本学学生、教員
5月18日(土)	第54回日本吹奏楽指導者クリニック (日本バンドクリニック委員会)	アクトシティ浜松 大ホール	シンフォニックウィンドアンサンブル
5月19日(日)		アクトシティ浜松 中ホール	
6月2日(日)	日本フィルハーモニー交響楽団 第255回芸術シリーズ 坂本龍一：地中海のテーマ (日本フィルハーモニー交響楽団)	東京芸術劇場 コンサートホール	合唱団 (共演：日本フィルハーモニー交響楽団)
8月3日(土)	第10回こどもの夢ひろば“ボレロ” (こどもの夢ひろば“ボレロ”実行委員会、仙台市、河北新報社)	日立システムズホール仙台	オーケストラ有志学生
8月4日(日)			
9月3日(火)	癒しの森コンサート2024 (東京音楽大学・信濃町)	タングラム斑尾東急リゾートホテルタングラム	シンフォニーオーケストラ
10月26日(土)	豊島区南池袋小学校主催 第23回みないけコンサート (豊島区南池袋小学校)	本学100周年記念ホール	シンフォニックウィンドアンサンブル
11月10日(日)	マエストロの白熱教室2024 指揮者・広上淳一の音楽道場 (フィリアホール)	フィリアホール	指揮学生、指揮教員、器楽学生有志オーケストラ
11月30日(土)	第15回 音楽大学オーケストラフェスティバル (音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会)	ミューザ川崎 シンフォニーホール	シンフォニーオーケストラ(共演：武蔵野音楽大学、国立音楽大学)

開催日	演奏会名（主催）	場所	出演
12月21日（土）	日本フィルハーモニー交響楽団 第九交響曲特別演奏会 2024 （日本フィルハーモニー交響楽団）	横浜みなとみらいホール	合唱団 （共演：日本フィル ハーモニー交響楽 団）
12月22日（日）		サントリーホール	
12月25日（水）		ミューザ川崎 シンフォニーホール	
3月2日（日）	Sky Winds スカイ・ウィンズ 吹奏楽の旅へ in 羽田	羽田空港 第2ターミナル5階 屋内展望フロア	吹奏楽アカデミー
3月7日（金）	日本フィルハーモニー交響楽団 第768回東京定期演奏会 マーラー：交響曲 第2番《復活》 （日本フィルハーモニー交響楽団）	サントリーホール	合唱団 （共演：日本フィル ハーモニー交響楽 団）
3月8日（土）			
3月29日（土）	第14回音楽大学フェスティバル オーケストラ （音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会）	ミューザ川崎 シンフォニーホール	8 音楽大学選抜学生

(アンサンブル・ソロ)

日時	演奏会名 (主催)	場所	出演
5月3日 (金)	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2024 マスタークラス (ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2024 運営委員会)	東京国際フォーラム ホール B5	ピアノ チェロ トランペット ヴィオラ
5月4日 (土)			
5月5日 (日)			
5月7日 (火)	第25回新人演奏会 (日本ピアノ調律師協会関東支部)	東京文化会館 小ホール	ピアノ
5月18日 (土)	読売中部新人演奏会 (読売新聞社)	電気文化会館 ザ・コンサートホール	声楽
6月19日 (水)	ヤマハ管楽器新人演奏会 (ヤマハミュージックジャパン)	ヤマハホール	クラリネット
6月20日 (木)			オーボエ
6月21日 (金)			トロンボーン
10月27日 (日)	第31回 めぐろ童謡コンサート (童謡の里めぐろ保存会)	めぐろパーシモンホール 大ホール	声楽
5月15日 (水)	庁舎ランチタイムコンサート in としま区民センター (としま未来文化財団・豊島区)	としまセンタースクエア	ピアノ
6月20日 (木)			弦楽三重奏
7月17日 (水)			声楽
9月18日 (水)			サクソフォーン四重奏
1月22日 (水)			金管五重奏
3月19日 (水)			打楽器アンサンブル
5月31日 (金)	北本市文化センターコンサート (北本市文化センター)	北本市文化センター ホール	弦楽四重奏
9月27日 (金)			声楽
1月24日 (金)			ピアノ
3月27日 (木)			金管五重奏

日時	演奏会名（主催）	場所	出演
6月5日（水）	区民ひろば回遊キャラバン （豊島区）	区民ひろば椎名町	声楽
7月24日（水）		区民ひろば豊成	弦楽四重奏
10月16日（水）		区民ひろば千早	ピアノ
12月11日（水）		区民ひろば池袋	声楽
1月17日（金）		区民ひろば南池袋	クラリネット二重奏
2月14日（金）		区民ひろば朋有	打楽器アンサンブル
3月7日（金）	区民ひろば回遊キャラバン （豊島区）	区民ひろば南大塚	金管五重奏
6月25日（火）	東京音楽大学 表参道 サロンコンサート （カワイ音楽振興会）	カワイ表参道 コンサートサロン 「パウゼ」	ピアノ
10月22日（火）			
12月25日（水）			
2月14日（金）			

3. 国際交流センター催事一覧

開催日	催事
4月5日(金)～11日(木)	宮崎泰二郎特別招聘教授特別レッスン
4月10日(水)	アンサンブル・アンテルコンタンポラン 作曲部会主催ワークショップ
4月19日(金)	コンコード・カーライル高校29名(アメリカ)訪問 見学
4月30日(火)	東京光音楽塾(中国向)大学説明会
5月15日(水)	日韓交流演奏会
5月27日(月)	アジアン・アート・アンサンブル ユ・ホン博士(韓国)訪問
5月28日(火)	イモラ国際ピアノアカデミーCEO、ピアノ科副主任(イタリア)訪問 見学
5月30日(木)	インドネシア大使館 教育アタッシェ:アムズル・リフィン博士(インドネシア)訪問 見学
5月31日(金)	インドネシア・ヤマハ(インドネシア)大学説明会・公開レッスン(オンライン)
6月1日(土)～12日(水)	エリソ・ヴィルサラーゼ特任教授ピアノ特別レッスン 演奏会・公開レッスン
6月7日(金)	知日塾(中国向)大学説明会
6月17日(月)	デビッド・チャイルズ ユーフォニアム公開レッスン
6月21日(金)	短期留学生ボトンド・バルトコス「自作を語る」ワークショップ
6月22日(土)	邦楽演奏会「交換留学生と仲間達」
7月4日(木) ～9月2日(月)	シエナ・キギアーナ音楽院夏季講習参加(ヴァイオリン・バロック声楽)
7月8日(月)、10日(水)	バーバラ・ドブレツベルガー 音楽学特別セミナー 7/8「シェーンベルク《月に憑かれたピエロ》について」 7/10「ブーレーズ《ピアノソナタ第一番》の分析」
7月16日(火)	ザルツブルク・モーツァルテウム大学学生2名(オーストリア)訪問 邦楽見学
7月17日(水)	四川音楽学院 スン・キリン教授(中国)訪問
7月20日(土)	邦楽演奏会「交換留学生と仲間達」
7月25日(水) ～8月8日(木)	バイエルン青少年オーケストラ 2名参加(合宿・演奏旅行7/26～8/6)
8月1日(木)	インドネシア・ヤマハ13名(インドネシア)訪問 見学 レッスン受講(ピアノ)
9月11日(水)～18日(水)	【保倉理事訪問】音楽大学及び高校計6校(台湾)
9月17日(火)～27日(金)	ローナン・オホラ特任教授ピアノ特別レッスン 公開レッスン
10月26日(土)	在中国日本国大使館(中国)日本芸術説明会(資料参加)
11月3日(日)	芸術祭「交換留学生のコンサート」
11月10日(日)、11日(月)	アウフヴィント 韓国伝統楽器 作曲ワークショップ「韓国の伝統楽器 未来を創造するプロジェクト コネクテッド・アジアン・サウンド・ネクスス(CASN)」
11月15日(金)	ニコラ・バルディルー クラリネット公開レッスン・ミニコンサート
11月18日(月)	ザルツブルク・モーツァルテウム大学学長・副学長(オーストリア)訪問 協定更新
11月18日(月) ～12月9日(月)	宮崎泰二郎特別招聘教授 特別レッスン
11月19日(火)	SEIMPI教育センター校長、教員、生徒 21名(シンガポール) 訪問 見学 本学留学生との交流
11月21日(木)	ルネサンスツアーズ(日演連関係)9名(オーストラリア)訪問
11月21日(木)、22日(金)	宮田大 チェロ公開レッスン
11月25日(月)	サボルチ・ゼンブレニ ホルン公開レッスン・ミニコンサート
11月26日(火)	レ・ヴォルク弦楽三重奏団 弦室内楽公開レッスン
11月27日(水)	アーミン・ザナー 声楽公開レッスン
11月30日(土)	イングリット・フックス 音楽学特別講演会「ブルックナーと同時代の交響曲指揮者―芸術的創造者と後見人たち―」
12月05日(木)	ファブリス・モレティ サクソフォーン公開レッスン・ミニコンサート

開催日	催事
12月16日(月)	松井康司 声楽公開講座「日本歌曲について」
12月17日(火)	クラウディア・タンデル ギゼラ・ヨブステル 声楽・ピアノ公開レッスン・演奏
12月18日(水)	杉山康人 テューバ公開レッスン
1月9日(木)	トビリシ音楽院ヴァチナーゼ学長(ジョージア)訪問 ピアノ公開レッスン
1月9日(木)	邦楽演奏会「交換留学生と仲間たち」
1月10日(金)	ニコラ・モッタラン 声楽公開レッスン
1月14日(火)	ルーカ・ゴルラ 声楽公開レッスン
2月3日(月)	ヤマハ37人(大連/中国)訪問 見学
2月28日(金)	大前匠 声楽講座・公開レッスン
3月4日(火)	スタンフォード大学助教授・サンディエゴ州立大学助教授(アメリカ)訪問 見学
3月16日(日) ～3月23日(日)	ヨーロッパ研修旅行 13名参加 エコールノルマルで研修 サルコルトー、サロンミュンシュにて演奏会

4. キャリア支援センターイベント一覧

日付	イベント名
4月16日（火）	コーエーテクモ説明会@Zoom
4月17日（水）	超大切！まずは知ろう！ インターンシップガイダンス（中目黒）
4月19日（金）	超大切！まずは知ろう！ インターンシップガイダンス（池袋）
5月13日（月）	自衛隊音楽隊採用説明会
6月7日（金）	【2026年3月卒対象】進路ガイダンス&合同企業研究会（※9社）
6月12日（水）	就職準備を始めたい方へ 出入り自由 何でも質問会
7月2日（火）	インターンシップ準備講座（4）【ESの書き方】何でも相談会
7月9日（火）	SPIドリルガイダンス
7月17日（水）	海外ヤマハ音楽教室 会社説明会
7月24日（水）	明治安田生命OG交流会
7月24日（水）	国内ヤマハ音楽教室 会社説明会
9月19日（木）	秋学期就活 スタートアップ講座
9月24日（火）	コロブラ会社説明会
9月26日（木）	★1・2年生向け★ キャリアデザイン講座 1（導入編）
10月10日（木）	★1・2年生向け★ キャリアデザイン講座 2（応用編）
10月17日（木）	～今からでも間に合う！ インターンシップの探し方～
10月24日（木）	★1・2年生向け★ はじめてのインターンシップ ガイダンス
10月31日（木）	就職活動マナー講座
11月11日（月）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
11月18日（月）	城南信用金庫 会社説明会
11月18日（月）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
11月20日（水）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
11月21日（木）	カプコン会社説明会
11月26日（火）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
11月28日（木）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
11月29日（金）	任天堂説明会
12月7日（土）	日本オペラ振興会説明会
12月9日（月）	二期会説明会
12月9日（月）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
12月11日（水）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
12月17日（火）	音楽業界の仕事を知る ー ソニー・ミュージックエンタテインメントをケーススタディ ー
1月9日（木）	就活キックオフ講座
1月14日（火）	株式会社ベアーズ 会社説明会【吹奏楽採用】
1月16日（木）	【低学年対象】超大切！まずは知ろう！ インターンシップ基礎講座
1月17日（金）	先輩の就活を聞く会【航空業界】
1月18日（土）	先輩の就活を聞く会【大手楽器メーカー（吹奏楽団）・国家公務員】

日付	イベント名
1月25日（土）	コロプラ会社説明会（オンライン開催）
1月29日（水）	先輩の就活を聞く会【音楽制作】
2月10日（月）	スタートアップ講座（ガイダンス・面接体験・職務適性テスト）
2月14日（金）	スタートアップ講座（ガイダンス・面接体験・職務適性テスト）
2月25日（火）	先輩の就活を聞く会【エンタメ、公務員（教員）、外資系ハイブランド、金融業界】
2月25日（火）	音楽家（フリーランス）のためのインボイス講座(仮題)
3月3日（月）	ヤマハ音楽教育システム講師 講師募集説明会
3月5日（水）	コーエーテクモゲームス・オンライン会社説明会

5. 附属図書館に関する資料

(1) 図書館の利用状況

① 蔵書数

2024 年度	楽譜	和書	洋書	録音資料	映像資料	合計
	76,309	32,184	22,753	45,277	4,335	180,858
eBook (内数)	353	240	1,030			1,623

雑誌	電子ジャーナル	契約データベース
1,110 タイトル	91 タイトル	14 種類

② 開館日数、来館者数

※来館者数は池袋図書館のみ（中目黒・代官山キャンパスは人数カウントができない）

	開館日数	入館者数	
		総数	一日平均
2024 年 4 月～8 月(※1)	99 日	— (※2)	— (※2)
2024 年 9 月～2025 年 3 月(※3)	133 日	17,236 人	130 人
2023 年度(※4)	236 日	— (※2)	— (※2)
2022 年度(※5)	237 日	22,534 人	95 人

(※1)2024 年 4 月～2024 年 7 月は改修工事中の窓口「A 館図書館サテライト」で開館。8 月休館。

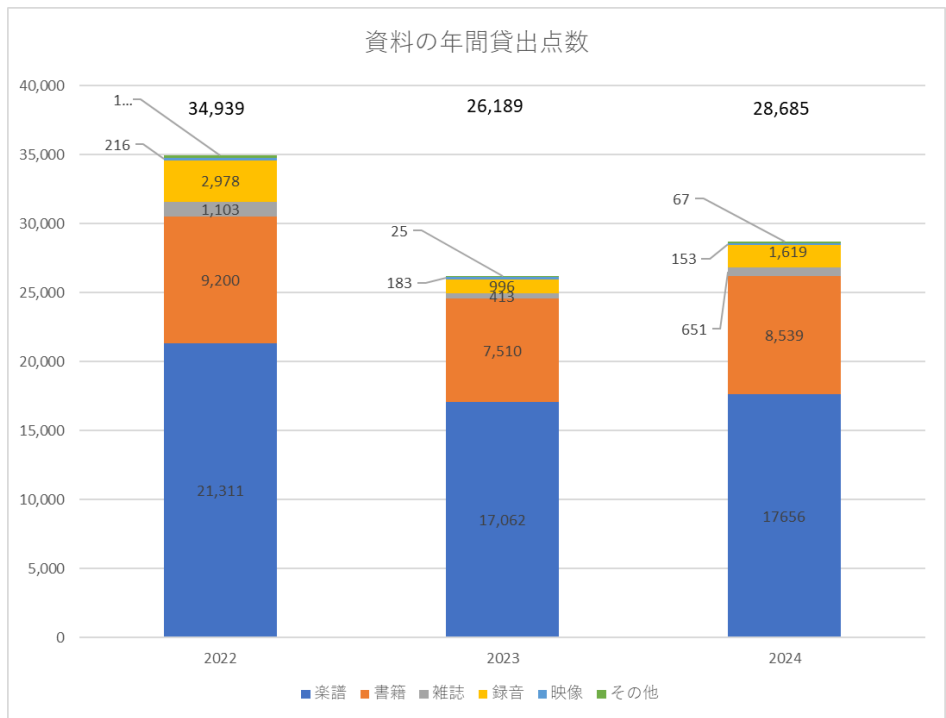
(※2)改修工事中の窓口「A 館図書館サテライト」は、人数カウントができない。

(※3)図書館がリニューアルオープンした 2024/9/9 より、入館者数のカウント開始。

(※4)2023 年度は、図書館改修工事のため 2/9～3/31 休館。

(※5)2022 年度は、図書館改修工事のため 3 月休館。

③ 資料の年間貸出点数の推移と利用率



	利用率		一人当たりの年間貸出点数	
	学部生	院生	学部生	院生
2024 年度	71%	75%	9 点	23 点
2023 年度	69%	75%	10 点	20 点
2022 年度	77%	86%	11 点	29 点

(2)ニッポニカ・アーカイヴ演奏譜貸出実績

今年度ニッポニカ・アーカイヴ・コレクションの演奏譜を使用して、開催された演奏会

公演日	演奏団体	会場	演奏曲
5 月 5 日	新日本フィルハーモニー交響楽団	東京国際フォーラム	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
8 月 1 日	札幌交響楽団	札幌文化芸術劇場 hitaru	早坂文雄《二つの讃歌への前奏曲》
8 月 24 日	Orchestra Da Vinci	なかの ZERO 大ホール	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
9 月 22 日	川越守記念 北海道交響楽団	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	早坂文雄「左方の舞と右方の舞」
10 月 18 日～20 日	兵庫芸術文化センター管弦楽団	兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
10 月 19 日	オーケストラ・トリプティーク	練馬文化センター 大ホール	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
1 月 4 日	Orchestra Sinfonica K	エポックなかはら	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》

(3)2024 年度開催のテーマ展示

図書館展示紹介サイト：<https://tokyo-ondai-lib.jp/exhibition/>

期間	展示内容	場所
5月7日～10月23日	「さよならマエストロ～父と私のアパッシ オナート～」完走記念スペシャルトークセ ッション関連 これがわが社の推し!! 今読 んで欲しいオーケストラ本、音楽本	中目黒・代官山キャンパス Study Area 展示書架
5月14日～7月19日（中目黒）	音大生の本棚 2024	中目黒・代官山キャンパス Study Area 展示書架
9月9日～10月21日（池袋）		池袋キャンパス図書館3階メインフロア 展示コーナー
6月1日～11月20日	今月のファクシミリ版:スメタナ(生誕200 年)	中目黒・代官山キャンパス Study Area ショーケース
9月9日～12月27日	野島稔コレクション公開記念展示	池袋キャンパス図書館3階メインフロア ショーケース
10月22日～1月20日	ガブリエル・フォーレ 没後100年	池袋キャンパス図書館3階メインフロア 展示コーナー
11月20日～12月26日	2024 ミニ展示「クリスマスの音楽」	中目黒・代官山キャンパス Study Area 展示書架
11月21日～12月27日(中目黒)	今月のファクシミリ版:湯浅譲二(追悼)	中目黒・代官山キャンパス Study Area ショーケース
1月6日～3月15日(池袋)		池袋キャンパス図書館3階メインフロア ショーケース
1月6日～3月15日	今月のファクシミリ版:ブーレーズ(生誕 100年)	中目黒・代官山キャンパス Study Area ショーケース
1月20日～（開催中）	源氏物語と音楽	中目黒・代官山キャンパス Study Area 展示書架 ※3月1日開催のライブラリーセミナー 「源氏物語と音楽」にちなんだ展示
1月27日～（開催中）	音楽とタテモノ	池袋キャンパス図書館3階メインフロア 展示コーナー

※2024 年 4 月～8 月は図書館改修工事に伴い、池袋でのテーマ展示は実施できなかった。

6. 付属民族音楽研究所催事等一覧

1) 2024年度公開講座（4回）

日時	講座名	会場
6月6日（木）	タイの仮面舞踊『ラーマキエン』と民俗舞踊—その歴史と現在	100周年記念ホール
10月12日（土）	幻の笛『天吹』の復元演奏——現代に蘇る薩摩の土魂——	Bスタジオ
11月17日（日）	インドネシア伝統舞踊とその発展～古典から学ぶ日常の発声・身体操法	Bスタジオ
3月22日（土）	伊福部昭の遺した楽器 ～明清楽器を聴く【其の十】～	Bスタジオ

2) 民研フォーラム(3回)

日時	講座名	会場
4月9日（火）	インドからマニプリ舞踊がやって来る！	C301教室
12月18日（水）	中国琵琶と馬頭琴による作曲ワークショップ～新しい表現の試み～	L152（アンサンブル室）
3月13日（木）	馬頭琴演奏方法のイノベーション	A200教室

3) ガムラン社会人講座

日時	講座名	会場
3月2日（日）	ガムラン講座発表会	100周年記念ホール

4) 社会人特別講座

日時	講座名	会場
2月27日（木）	社会人特別講座修了演奏会	TCMホール
3月29日（土）	学外施設見学会	民音音楽博覧館

5) 社会連携

日時	講座名	会場
7月20日（土）	文化庁「度東京音楽大学補助事業アートマネジメント人材育成」（2024年） 「伝承を担うフィールドからまなび、ともにづくり、地域へつなぐアートマネジメント人材育成」基礎講座「地域における実践例を学ぶための講座（対面講座）」	A200教室
8月1日（木） ～2月28日（金）	同基礎講座「政策・制度的な枠組みを学ぶための講座（オンライン講座）」	オンライン
8月4日（水） ～12月16日（月）	同「企画制作研修A：祭囃子を通じたソーシャル・インクルージョンの実現」	学内・オンライン・小金井市
9月7日（土） ～12月7日（土）	同「企画制作研修B：つながる・ローカル・三匹獅子舞～民俗芸能がおりなすコミュニティ形成」	いわき市・川越市・オンライン・クリエイティブラボ

日時	講座名	会場
9月29日（日） ～12月7日（土）	同「企画制作研修C：インドタウンのコミュニティミュージック 2024」	江戸川区
12月14日（土）	同ラウンドテーブル 「地域における文化観光の視点から無形の文化遺産の可能性を考える－鹿児島本土と奄美における音文化の伝承コミュニティを事例にして－」	Bスタジオ
3月1日（土）	同「総括シンポジウム」	B500教室

7. 内部統制システム整備の基本方針

内部統制システム整備の基本方針

学校法人東京音楽大学（以下、「本法人」とする。）は、令和6年12月18日、理事会において、理事の職務執行が法令・寄附行為に適合すること及び業務の適正を確保するための体制の整備に関し、本法人の基本方針を以下のとおり決定した。

1. 経営に関する管理体制

- (1) 理事会は、定時に開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、法令・寄附行為に従い、必要な事項については評議員会の意見を聴いたうえで、業務執行上の重要事項を審議・決定するとともに、理事の職務執行を監督する。
- (2) 寄附行為及び「学校法人東京音楽大学寄附行為施行規則」（以下、「施行規則」とする。）に基づき、理事会及び評議員会の役割、権限及び体制を明確にし、適切な理事会及び評議員会の運営を行う。
- (3) 理事会決議により理事の役割分担を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。
- (4) 本法人の日常的な業務については、施行規則に基づき設置された常勤理事会が、「常勤理事会運営規程」に基づき決定を行い、理事会に報告する。
- (5) 職務分掌・決裁権限を明確にし、理事、職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と有効性・効率性を高める。
- (6) 理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報について寄附行為及び「文書管理規程」に基づき、適切に作成、保存及び管理する。
- (7) 業務執行機関からの独立性を有する内部監査部門を設置し、業務の適正及び効率性を確保するため、業務を執行する各部の職務執行状況等を定期的に監査する。

2. リスク管理に関する体制

- (1) リスク管理に関し、体制及び「学校法人東京音楽大学リスク管理規程」を整備し、役割権限、リスクの評価方法、リスク対応方法等を明確にする。
- (2) 「個人情報保護方針」及び「個人情報保護に関する諸規程」に基づき、個人情報の保護と適切な管理を行う。
- (3) 事業活動に関するリスクについては、法令及び本法人の規程等に基づき、職務執行部署が自律的に管理することを基本とする。
- (4) リスクの統括管理については、常勤理事会が一元的に行うとともに、重要リスクが漏れなく適切に管理されているかを適宜点検・評価し、その結果について業務を執行する理事及び理事会に報告する。
- (5) 本法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについては、理事会で審議し、必要に応じて対策等の必要な事項を決定する。
- (6) 災害、事故その他の緊急時に備え、対応組織や情報連絡体制等について理事会で定めるとともに、継続的な教育と定期的な訓練を実施する。
- (7) 研究活動について、内部牽制機能による研究費の適正経理、研究不正の防止及び知的財産の保護並びに社会的信頼性を確保するため、規程等を定めるとともに、必要な措置を講じる。
- (8) 理事会は、毎年、業務執行に関するリスクを特定し、見直すとともに、リスク管理体制についても見直しを行う。

3. コンプライアンスに関する管理体制

- (1) 理事及び職員は、法令並びに寄附行為及び本法人の規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動等を行う組織風土を高めるために、「学校法人東京音楽大学コンプライアンス規程」（以下、「コンプライアンス規程」とする。）を定める。
- (2) 本法人のすべての役職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、不正防止等に関わる役職員への教育及び啓発活動を継続して実施、周知徹底を図る。
- (3) 本法人の内外から匿名相談できる通報窓口を常設して、不正の未然防止を図るとともに、速やかな

調査と是正を行う体制を推進する。通報窓口又は監事に対しコンプライアンスに関する相談又は違反に係る通報をしたことを理由に、不利益な取扱いを行わない。

- (4) 内部監査部門は、職員等の職務執行状況について、コンプライアンスの観点から監査し、その結果を理事長に報告する。理事長は、当該監査結果を踏まえ、所要の改善を図る。
- (5) 法令・寄附行為違反等の行為が発見された場合には、「コンプライアンス規程」に従って、理事会において迅速に状況を把握するとともに、外部専門家と協力しながら適正に対応する。

4. 監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）

- (1) 監事は、「監事監査規程」に基づき、公平不偏の立場で監事監査を行う。
- (2) 監事は、理事会、評議員会等の重要会議への出席並びに重要書類の閲覧、審査及び質問等を通して、理事等の職務執行についての適法性、妥当性に関する監査を行う。
- (3) 監事は、理事会が決定する内部統制システムの整備について、その決議及び決定内容の適正性について監査を行う。
- (4) 監事は、重要な書類及び情報について、その整備・保存・管理及び開示の状況など、情報保存管理体制及び情報開示体制の監査を行う。
- (5) 監事の職務を補助するものとして、監事の求めに応じ、独立性を有する補助職員を配置する。
- (6) 補助職員は、監事の指揮命令下で監査業務を行うこととし、当該補助職員の異動等については、監事の意見を尊重する。
- (7) 理事又は職員等は、本法人に著しい損害を与えるおそれのある事実又は法令、寄附行為その他の規程等に反する行為等を発見したときは、直ちに理事長並びに監事に報告する。
- (8) 理事及び職員等は、職務執行状況等について、監事が報告を求めた場合には、速やかにこれに応じる。
- (9) 理事長は、定期的に監事と会合を持つなどにより、事業の遂行と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り、相互認識を深める。
- (10) 監事はその職務の執行について生ずる費用の前払い若しくは支出した費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合には、速やかに相当額を支払う。

5. 本方針の改廃

本方針に見直しの必要性が生じた場合は、理事会の決議により改正するものとする。